

男女平等参画をはじめとするさまざまなテーマの本を紹介します。  
男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご活用ください。



## たぶん私たち一生最強

著者 | 小林早代子  
出版社 | 新潮社

高校時代の女友達4人のルームシェアの小説。  
全体的にはコメディ調ですが、小学生の姪っ子の不登校や、子宮系の患い等、社会的な問題にも触れています。  
最終的には、4人でルームシェアしながら、子育てをする話です。  
人生は、人それぞれ、自分の人生は周りに囚われず、自分らしく生きることへ勇気を与える小説です。



## 3万人の大学生が学んだ 恋愛で一番大切な“性”のはなし

著者 | 村瀬幸浩  
出版社 | KADOKAWA

大学でのセクシュアリティ教育の授業を受講した学生の声も紹介。「男らしい」「女らしい」といった固定観念は私達が育ってきた環境で無意識に植え付けられてきた。その固定観念から離れ、対等なパートナー関係の在り方を考えるきっかけとなる。人間の「性」は心理的繋がりから信頼関係が生まれ、「愛」に満ち溢れているもので、自分の思いを語る大切なコミュニケーションである。次世代へ語り継ぎたい一冊。



## 10代の妊娠 友だちもネットも教えてくれない性と妊娠のリアル

著者 | にじいろ 監修 | 高橋幸子  
出版社 | 合同出版

かわいい絵柄ですが10代の人たちの切実な現状を教えてくれています。まだまだ狭いコミュニティに属する10代では情報も手段も限られ、わからないことはたくさんあると思います。しかし実はサポートする人も仕組みも多くあります。大切なのは10代に届けることだと思いましたが、そのために大人に読んでほしい本です。

男女共同参画に関連する法律や制度の改正、または世界や日本の統計調査の結果など、みなさんの生活にかかわりのあるホットな話題をお伝えします。

## 職場の多様性の壁「オールド・ボーイズ・ネットワーク」

男性だけのルールや暗黙の文化が  
女性や若者の活躍を阻む

政府は2030年までに指導的地位に占める女性の割合が30%になる目標を掲げていますが、女性管理職はなかなか増えないのが現状です。NPO法人J-Win(ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク)では、女性の活躍を阻む問題は3つあると考えています。「将来像が見えない」「仕事と家事／育児とのバランス」、そして企業内での大きな問題となる「オールド・ボーイズ・ネットワーク(OBN)」。

OBNとは、男性社会である組織や企業で長年培われてきた明文化されていないルールや仕事の進め方、暗黙の文化、職場環境のこと。具体的には、男性だけのネットワークでの情報交換や意思決定、上司に対する忖度や根回し、女性にお茶出しや掃除、男性のサポート業務などをさせる、女性への過剰な配慮や思い込み、深夜・長時間労働などがあります。

閉鎖的なルールや仕事の進め方を  
「見える化」することが必要

仕事を進めるために大切な知識や暗黙知、必要な行動規範などが、女性に限らず若者にもほとんど伝えられないことがマイノリティの活躍を阻んでいます。多様な価値観を持つ人たちがお互いを受け入れ、議論できるダイバーシティ&インクルージョンを阻害する要因の一つがOBN。多様性を受け入れる風土を醸成するためには、マジョリティである男性がOBNに気づき、自分事として受け止め、壁を打ち破ることが大切。マイノリティの立場や気持ちを理解して寄り添い、十分なコミュニケーションをはかり、積極的にサポートすることが求められます。

ルール、仕事の進め方などを、誰もが知って理解できるよう「見える化」し、壁を低く薄くすることが、企業や地域の多様性と持続的な成長をもたらすでしょう。

